

せんだんの子

学校目標

「体を強く 心賢しく
学び合う せんだんの子」



令和7年12月12日 校長 廣瀧 由紀子

2025年も残り少なくなりましたね

12月（師走）となりました。早いもので2025年も残りあと半月。2学期もあと少しさうです。

11月30日（日）の授業参観には、大変お忙しい中にたくさんの方に参観いただき、ありがとうございました。これまでの学習をまとめて、発表会をしたり、2年生の学級活動では、養護の先生からの話をもらい、「感染予防・手洗い」について勉強したり、頑張る姿が見られました。また、算数T・Tや外国語や通級指導教室まで、子どもたちの日頃の様子を見ていただけたのではないかと思います。



しかしながら、日曜日から急激にインフルエンザ感染者が増え、2クラスが学級閉鎖となりました。他のクラスでもインフルエンザ感染者が増えましたし、職員にも罹患者がありました。関係のみなさまには、ご心配とおかけしました。また、閉鎖期間中の自宅待機対応等、保護者のみなさまには大変お世話になりました。ありがとうございました。

まだまだ、県内でもインフルエンザ感染者が増えているようです。手洗い・うがいでしっかりと感染対策をしたいものです。早寝・早起き・朝ごはん、健康管理もしっかりとお願ひいたします。体調不良（発熱）の場合は、病院受診をお勧めします

インフルエンザ等の出席停止基準

「ほけんだより」でもお知らせしていますが…学校保健安全法施行規則では、「発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで」を出席停止としています。必要に応じ医師にご相談ください。

スマホ、その使い方で大丈夫？

11月30日（日）の日曜参観に合わせて、PTA教育講演会を行いました。「NPO 法人子どもとメディア」の公式インストラクターでいらっしゃる森田久美先生にお越しいただき、「知って、守って、伝えよう」という演題で情報モラルについて講演いただきました。

【講演内容の一部を紹介】

～子どもたちの日常にあるスマートフォンやSNSについて、海外では、現在、未成年の利用を法規制する動きが加速しています。例えば、オーストラリアでは、16歳未満の未成年に対し、アカウントを持たせないために合理的措置を講じることなどの法律が導入されました。「Instagram や TikTok、Facebook」などが対象です。日本では、今のところ法規制（自治体の条例は除きますが）がなく、子どもたちをリスクから守るのは、保護者の役割とされています。子どもをリスクから守るために対策をしましょう。

・フィルタリングを活用しましょう。

・スマホルールを作りましょう。

（使っていい時間帯、使用時間、年齢に合わせて）

・安全機能を使って、安全に使いましょう。

また、私たちの生活に欠かせないデジタル機器ですが、使い過ぎは、健やかな成長を妨げることも！

使いすぎ、寝る前などの使用による睡眠不足で、体内時計が狂ったり、脳の発達にダメージがあったり、人と話す時間が減ることでコミュニケーションの力が低下したりします

～ 講話から

大人も一緒にスマホから離れる時間を設けて、子どもとふれあう時間が必要だということ。私たち大人もデジタルデトックスが必要なのかもしれません…。

アンケートへのご協力ありがとうございました。